



診療情報の標準化

— 情報標準化の問題点 —

国立がん研究センター がん対策情報センター
がん統計研究部 院内がん登録室 西本 寛

診療情報の管理

- 情報を蓄積するだけでは、無意味
- 誰が情報処理をする？ (Actor)
 - 発生源である医師、看護師、その他……
 - 情報処理専門家
- 目的が異なれば、時期 (Timing)・方法 (Process) も異なる

- Use Case (ユースケース) という考え方
 - Actor、Process、Timingの3要素で比較

診療情報管理の課題

Use Caseを想定した上で、

- 標準化
 - 同じ対象、同じ定義で
 - 共通の用語辞書が必要
- 共有化
 - 発生した情報を多部署で利用
 - 標準化が前提
- 統合化
 - 発生した情報を一つにまとめる

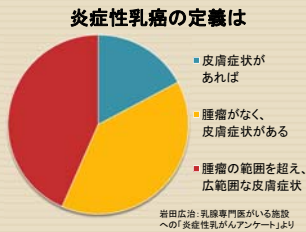
情報管理の目的は？
複雑な事象 (状況) を
全体として把握・理解
↓
予測・評価→企画・立案

標準化の問題点

- 同じ対象、同じ定義にできるか
 - 情報収集の目的 (Use Case) によって異なる
 - 定義についても、異なる
- 収集する情報自身の精度はどうか
 - 情報源が目的に合った情報を提示しているか
- 情報源の負担をどう低減するか

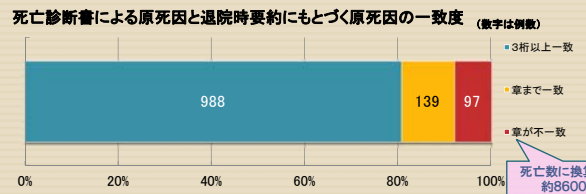
同じ定義での情報が作成されているか

- 炎症性乳癌
 - 取扱い規約では「通常腫瘍を認めず、皮膚のびまん性発赤、浮腫、硬結を示す」もの
 - 実際には、定義自身が幅広く解釈されている
- UICC TNM分類では、
 - 皮膚症状あり T4b
 - 炎症性乳癌 T4d とされる



収集情報の精度はどうか

- 死亡診断書による原死因と退院時要約に基づく原死因の一致度
 - ICD3桁目での異同あった症例数は 約20%
 - ICDの章《死因分類表大分類》が異なる症例数は 約8%



厚生労働省 統計情報高度総合研究「我が国の統計における死因及び傷病構造の把握精度の向上並びに国際比較の可能性向上に関する具体的研究」研究報告書

情報源に対する負担

7

- 書類作成等に関する業務量の増加
 - 医師・看護師の負担が増加
- 様々な事務職員を効果的に活用
 - 医療クラーク
 - 看護補助者
 - 医療ソーシャルワーカー(MSW)、
 - 診療情報管理士
 - ポーターやメッセンジャー
- 医師等の負担軽減
提供する医療の質の向上
医療安全の確保

チーム医療の推進に関する検討会 報告書

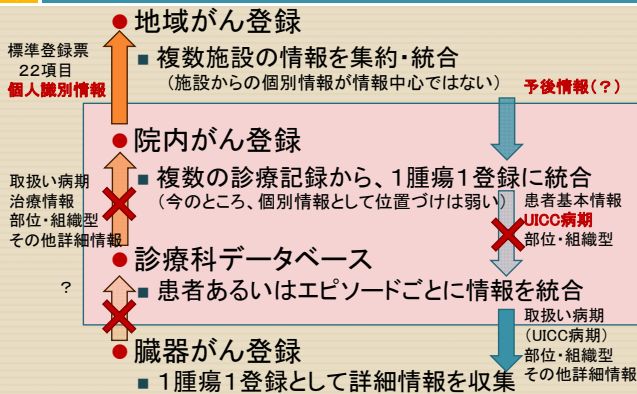
情報を収集、活用する取組み(がん関連)

8

- がんに関連した情報収集と活用
 - 地域がん登録 疫学的 都道府県 ← 医療機関
 - 院内がん登録 国 ← 医療機関
 - 臓器がん登録 臨床的 学会など ← 医療機関
 - 診療科データベース 内部的利用
- さらに、
 - Quality Indicator 臨床的情報
 - バイオバンク 遺伝子情報と臨床的情報
- それぞれの担当者: Actorをどう扱うか

がん関連データベースのデータの流れ

9

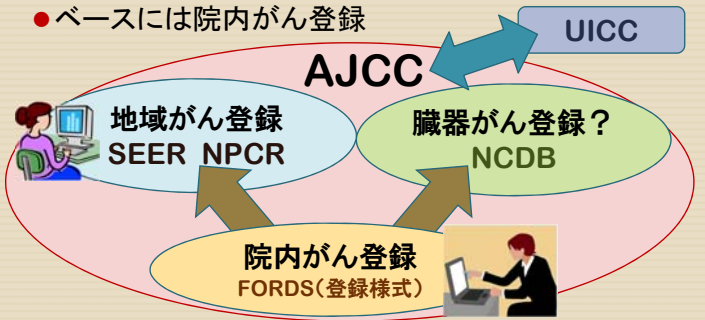


アメリカのがん登録モデル



10

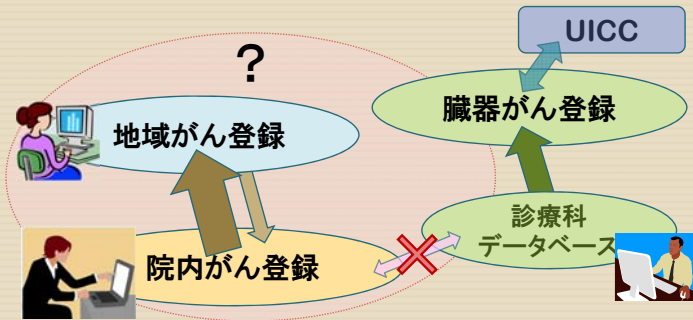
- AJCC(American Joint Committee of Cancer)が、全体を調整しつつ、各がん登録が個別に活動
- ベースには院内がん登録



日本のがん登録の現状

11

- 全体を調整する機関がなく、各がん登録が個別に活動
- 院内・地域がん登録の調整が先行して進行している



院内がん登録実務者に関する研修 2007-2010年

12

- 院内がん登録実務 **初級者** 研修会 **2640名修了** (約1200施設)
 - ・実務しながら約1年かけて5日間受講→修了
 - ・主要5部位のコーディングスキル
- 院内がん登録実務 **中級者** 研修会 **285名修了**
 - ・5日間受講した上で、試験をパスして修了
 - ・ほぼ全部位のTNM分類のコーディングスキル
- 院内がん登録実務 **指導者** 研修会 **64名修了**



がんにおけるQuality Indicator研究

13

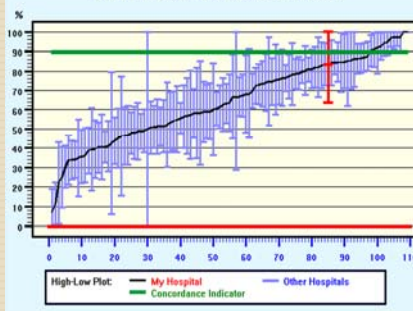
- 厚生労働省 がん臨床研究
「がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究」研究班
(研究代表者: 祖父江友孝)
- Quality Indicator
= 管理評価指標
がん診療の質の管理に用いることができる指標の作成をめざす

QIを用いたベンチマーキング例

14

アメリカ外科学会がん関連委員会全国がんデータベース (NCDB)
Cancer Program Practice Profile Report (CP3R)

Weighted Proportion of Stage III Colon Cancers Receiving Surgery & ACT: 1998-2004
CoC-Approved Programs in My State
NCDB Demo Hospital in California, Citiville, CA - 20000093

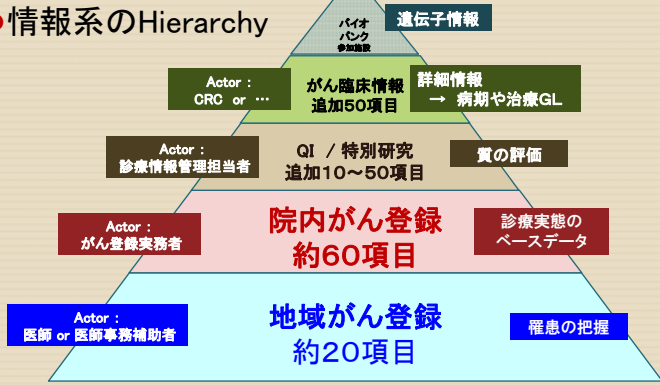


- 施設別術後Ⅲ期大腸がんの術後化学療法施行率
- 各施設がIDでログイン、個別のフィードバック
- 全体の分布の中での自施設の位置を知る (ただし、他施設の成績は知ることはできない)

院内がん登録を利用した情報系の構築

15

● 情報系のHierarchy



標準化の方法論 (まとめにかえて)

16

- コード化することで、目的とする情報を、標準化した形で収集
 - Use Caseを考慮して比較
 - 標準化をAuthorizeする組織体制が必要
- 現状では、共通の定義・精度を担保するために専門的知識を持った人間が関与する必要
 - システムがサポートすることで、人的労力を低減
 - 人材育成のための仕組みの構築が必要